

継 1 ～多文化共生社会の構築を推進する事業～

1. 多文化共生社会づくり推進事業

(1) 多文化共生のまちづくりサポート事業

① 多文化共生オフィス運営事業

・多言語相談窓口運営

多文化共生オフィスにおいて、次のとおり多言語での相談及び法律、出入国に関する相談業務を実施しました。また、必要に応じて外国籍児童とその保護者のための教育相談を受け付け、情報提供、アドバイスを行いました。

相談件数 6,961件

多文化共生オフィスオープン時間 9:00～20:00

●日本語、英語、中国語	随時	9:00～20:00
●中国に関する相談 *	毎週火曜日	13:00～17:00
●ドイツに関する相談 *	毎週水曜日	13:00～17:00
●韓国に関する相談 *	毎週木曜日	13:00～17:00
●アメリカに関する相談 *	毎週金曜日	13:00～17:00
●タガログ語相談	第2水曜日	13:00～17:00
●スペイン語相談	第1金曜日	13:00～17:00
●韓国人のための生活相談	第4水・木曜日	13:00～17:00
●中国人のための生活相談	毎週水・金・日曜日	13:00～18:00
●出入国管理法及び難民認定法に関する相談 **	第1水曜日	13:00～15:00
●外国人のための無料法律相談 **	第3土曜日	14:00～16:00
●外国人のための心の相談	第3日曜日	13:00～15:00

* 熊本市国際交流員対応相談

** 前日の午前中までに予約が必要

・市政だよりの多言語化

情報（語学）ボランティア登録者の協力を得て、毎月、市政だよりの生活・催し・健康の中から在住外国人にとって必要な情報を英語、中国語、韓国語に翻訳しHP上へ掲載しました。

・KIFニュースの配信

KIFの主催するセミナー・交流会・講座の他、民間国際交流・協力団体が実施する催し物情報を、毎週1回、インターネットで配信しました。

KIFニュース登録者数 533人（H31.3月末現在）

・あんしん・あんぜん・防災・生活情報 eメールマガジン

携帯メールを利用し、登録いただいた在住外国人向けに生活情報等を英語、中国語、やさしい日本語で提供しました。災害時には、災害メールとして活用しました。

※（3）外国人のための防災事業 ④災害メール配信を参照

配信 毎月10日

登録者 343人 内訳：やさしい日本語 20人、英語 247人、
中国語 66人、韓国語 10人（H31.3月末現在）

② 多文化共生月間事業

1) 外国人住民コミュニティ会議

中国ルーツの住民、外国人妻と日本人妻の会、熊本大学留学生会、熊本イスラミックセンター、熊本地震プロジェクトの各コミュニティのメンバーが、それぞれの活動について発表をおこない、各コミュニティ間の横の連携、ネットワーク強化等多文化共生社会づくりを促進することを目的とした会議を実施しました。

日 時：平成31年2月23日（土）10:00～12:00

場 所：国際交流会館 4F第3会議室

参加人数：37人



2) 多文化共生シンポジウム「多文化共生と地方創生」

在住外国人が年々増加、また、彼らの生活が多様化する中で、どのような多文化共生社会を創っていくのか、視野を広げ、世界の事例から地域社会のことを考えるシンポジウムを実施しました。

日 時：平成31年2月23日（土）13:30～16:30

場 所：国際交流会館 7Fホール

参加人数：67人

内 容：1部 多文化共生の新時代に向けて
～国と自治体の役割～

講演者：山脇啓造氏

（明治大学国際日本学部教授）

2部 熊本市内多文化共生事情調査報告

・ 熊本県立大学

生活者としての外国人への日本語教材開発活動

・ 国際交流振興事業団

県内市町村多文化共生状況調査活動

コメンテーター：羽賀友信氏、山脇啓造氏



3) 多文化共生写真展

多様な文化的背景を持つ方々との共生社会や誰もが安心して暮らせる地域社会を構築する一助として、地域に暮らす外国人や多文化共生に関する取り組みを紹介するパネル展を開催しました。

テーマ：「多文化共生社会のすがた」

期 間：平成31年2月1日（金）～ 28日（木）

場 所：国際交流会館 1Fエントランスホール

入場料：無料

内 容：・ 県内の多文化共生の実状

・ 外国人の書道体験

・ 外国人の俳句作品等

③ 地域サポート事業

【多文化共生地域サポート活動】

各区役所保健子ども課の依頼に応じ、熊本市が行う「赤ちゃん訪問事業」へ通訳として同行し、言語・文化通訳支援を行いました。加えて、異国での子育てによるストレスや不安に対してのアドバイスや子供の成長に合わせた教育等のサポートを行うとともに、生活全般の情報提供を行いました。

また、外国人の個々の課題に応じ、その問題解決までを、関係団体の協力のもと実施しました。教育機関等からの要請に基づき、学校に通う外国ルーツの子どもたちの保護者に対し、教育の仕組み、学校での基本的な生活や年間行事等について説明しました。

相談件数：27件

地域 \ 分野	赤ちゃん訪問	検診	発育療育	メンタルケア	転編入学	教育相談	行政手続等	医療	その他	計
アジア	1	1	—	4	1	6	1	1	8	23
欧米	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
アフリカ	1	—	—	1	—	—	—	—	—	2
計	2	1	—	5	1	6	1	1	10	27

④ 医療通訳ボランティア派遣制度

メディカルサポートくまもとと協力し、医療通訳ボランティア養成講座を修了したボランティアを提携する医療機関へ派遣しました。

平成31年3月現在の提携医療機関は、国立病院機構熊本医療センター、熊本大学付属病院、熊本赤十字病院、福田病院、熊本中央病院、熊本機能病院、くまもと森都総合病院の計7医療機関

派遣件数：85件（うち提携外医療機関からの依頼2件）

●平成30年度 医療通訳ボランティアスキルアップ研修

現在医療通訳ボランティアに登録している方に対し、スキルアップを目的とした講義やロールプレイを行うことで登録者のモチベーションのアップを図るとともに、今年度の派遣の活動状況の報告と登録者の現在の状況確認を行う為の研修を実施しました。

日 時：平成31年3月31日（日）14:00～16:00

場 所：国際交流会館 3F 国際会議室

講 師：Sheeraz S. khan氏（熊本イスラミックセンター）

最相博子氏（メディカルサポートくまもと代表）

参加人数：13人

（2）日本語支援事業

① くらしのにほんごくらぶ

在住外国人が熊本で生活する上で必要な日本語を習得できるよう、日本語会話や日本の生活習慣を学ぶ「くらしのにほんごくらぶ」を行いました。日本語学習をサポートするボランティア（生活日本語ボランティア）と学習を行うと共に、日本文化体験や交流会などを実施しました。

活動日：毎週 火曜日10:00～12:00

水曜日10:00～12:00、14:00～16:00、18:30～20:00

日曜日10:00～12:00、14:00～16:00

参加学習者数：延べ4,763人

ボランティア数：延べ3,715人

場 所：国際交流会館 2F

ミーティングルーム・交流ラウンジ



交流会（対象：学習者とボランティア）

●月見団子づくり

日 時：平成30年9月19日（水）13:00～15:30/18:30～20:00

場 所：国際交流会館 4F第3会議室/2Fミーティングルーム

参加人数：41人

●年末交流会

日 時：平成30年12月16日（日）10:00～15:30

場 所：国際交流会館 4F第3会議室

参加人数：118人

●書道体験（書き初め）

日 時：平成31年1月9日（水）13:00～15:00

場 所：国際交流会館 2F交流ラウンジ

講 師：KIFサポートセンターボランティア

参加人数：13人



●茶道体験（初茶会）

日 時：平成31年1月13日（日）10:00～16:00

場 所：国際交流会館 5F茶道室

参加人数：77人

●お花見交流会

日 時：平成31年3月31日（日）12:15～14:00

場 所：熊本城城彩苑

参加人数：約82人



② 初級日本語集中講座

日本語を学習したことがない在住外国人を対象に、集中的に日本語の基礎を学習する講座を開講しました。

期 間：

1) 平成30年7月14、18日（入門講座）25、26、27、29、31日（本講座）

2) 平成30年9月12、14日（入門講座）19、20、21、23、24日（本講座）

3) 平成30年12月5、8日（入門講座）12、14、15、16、17日（本講座）

4) 平成31年3月19、22日（入門講座）26～30日（本講座）

※5月講座は、受講生が最低催行人数集まらなかった為中止

講 師：日本語教授法有資格者（外国ルーツのこども支援ネット、大学講師など）

参加人数：計23人（6人、5人、9人、3人）

③ 生活日本語支援ボランティア研修会

1) 熊本県立大学主催講座『海外につながる家庭と多文化共生の地域づくり』

日 時：平成30年10月12日（金）12:50～14:20

場 所：熊本県立大学

講 師：山田泉氏（にんじんランゲージスクール校長）

参加人数：生活日本語ボランティア16人

2) 多文化共生シンポジウムへの参加

日 時：平成31年2月23日（土） 14:00～16:30

場 所：国際交流会館 7Fホール

参加人数：生活日本語ボランティア21人

④ 地域日本語教室

地域に住む在住外国人を対象に、生活に必要な日本語の学習機会の提供と、地域に住む住民同士の交流を促進することを目的とした地域日本語教室を開講しました。

【武蔵ヶ丘教室】

開催日：毎週火曜日 10:00～11:30

場 所：菊陽町西部町民センター

支援者：生活日本語ボランティア

学習者：延べ248人

（協力ボランティア 延べ166人）

参加費：300円（会場代。学習者の代表が管理。）



【健軍教室】

開催日：第2週以外の毎週火曜日10:00～11:30

場 所：よって館ね（健軍商店街ピアクレス内）

支援者：生活日本語ボランティア

学習者：延べ83人

（協力ボランティア数 延べ88人）



【東区くらしのにほんごくらぶ】

開催日：毎月第1・第3日曜日 10:00～11:30

場 所：東部公民館

支援者：日本語交流サポーター

学習者：延べ80人（協力ボランティア数 延べ118人）

⑤ 熊本県立大学との連携事業

日本語教育研究室との地域連携型卒業研究として、外国人母子や県内の技能実習生について調査、日本語教材を作成しました。

⑥ 文化庁委託事業 スタートアッププログラム事業

熊本地震の際、地域日本語教室のつながりがセーフティネットの役割を果たしたことを切っ掛けに、日本語教室がない空白地域に新しい教室を立ち上げ、“顔の見える”関係作りを推進しました。平成30年度は、現在地域日本語教室が実施されていない西区で新しい日本語教室を開設するためのサポーター養成講座及び新しく多文化共生の拠点となる教室「西区くらしのにほんごくらぶ」を開設しました。

開催日：毎月第2・第4土曜日 13:30～15:00

（平成31年3月9日より開始）

場 所：田崎市場会館

支援者：日本語交流サポーター

学習者：延べ13人（協力ボランティア数 延べ33人）



※サポーター養成講座

日 時：平成31年1月26日（土）、2月2日（土）、2月9日（土）

場 所：国際交流会館

参加人数：34人

（３）外国人のための防災事業

在住外国人を対象にした防災・避難訓練を熊本市国際交流会館にて開催しました。
また災害時外国人支援多言語サポーター養成講座を開催しました。

① 外国人の為の防災訓練

外国籍住民・外国人コミュニティ関係者、留学生向けに防災時の基礎講話及び被災者体験発表と防災シュミレーションクイズを行い、防災基礎知識を学んでもらう防災訓練を開催しました。

日 時：平成30年12月1日（土）13:00～15:00

場 所：国際交流会館 2F交流ラウンジ

参加人数：22人（11カ国）

〈出身国〉グアテマラ・メキシコ・台湾・フィリピン・パプアニューギニア・イラク・中国・ミャンマー・チュニジア・タイ・インドネシア



② 災害時外国人支援多言語サポーター養成講座

語学ボランティアや市民を対象に災害時多言語情報翻訳・通訳に協力して頂く、災害時外国人支援多言語サポーター養成講座を開催しました。登録者数：20人

第1回

日 時：平成30年7月14日（土）10:00～12:00

場 所：国際交流会館 5F大広間AB

内 容：災害時に外国人が抱える課題等

第2回

日 時：平成30年7月21日（土）10:00～15:00

場 所：国際交流会館 4F第1会議室

内 容：翻訳・通訳の留意点・多言語翻訳スキルアップ研修等

第3回

日 時：平成30年8月4日（土）10:00～15:00

場 所：国際交流会館 3F国際会議室

内 容：災害ボランティアの役割・大規模災害時の活動事例等

第4回

日 時：平成30年8月18日（土）10:00～15:00

場 所：国際交流会館 3F国際会議室

内 容：やさしい日本語の概念



③ 災害メール配信・防災カード

K-SAFE災害メール配信システムを活用した災害情報・生活情報の配信に努めました。さらに、災害発生時の警戒レベルに合わせて、災害メールを日本語、英語、中国語、韓国語で配信しました。

件数：11件（内：台風情報8件 大雨洪水警報1件 地震情報1件 土砂崩れ警報1件）

熊本大学等での新入学留学生オリエンテーション、外国人コミュニティの会議や日本語教室などで外国人参加者向けにK-SAFE災害メール登録の呼びかけ及び防災カードの配布を行いました。

④ 在住外国人の状況把握（在住外国人データベース運用）

在住外国人の住民データを、学校区（避難所地区）ごとに整理し、災害時対応に備えました。

（４）外国籍の子どもの教育支援事業

① 進路ガイダンス

帰国者の呼び寄せや、親が国際結婚などで来日した外国にルーツを持つ子どもたち及びその保護者を対象に、日本の教育システムや高校受験の際の特別措置・配慮などについて詳しく説明をする進路ガイダンスを実施しました。

日 時：平成30年7月8日（日）13:30～16:30

場 所：国際交流会館 5F大広間、談話室、小会議室和室

参加人数：98人（中学生13人、保護者13人、中学校担任教師7人、通訳6人、小中教師13人、高校教師11人、高校生11人、一般6人、ボランティア大学生5人、スタッフ13人）

参加費：無料



② 外国籍児童のための教育サポート

義務教育期間における日本語指導が必要な外国籍児童生徒に対し、高校生及び支援者が集まり、日本語、教科学習指導や生活相談等も行う「おるがったステーション」を国際交流会館において開催しました。

おるがったステーション

日 時：毎週日曜日 10:00～12:00（中学生対象）、13:00～15:00（小学生対象）

場 所：国際交流会館 5F和室他

参加人数：47人（日本、中国、シンガポール、アメリカ、フィリピン、スリランカ、台湾、韓国等）

③ 熊本・外国ルーツの子どもたち支援連絡協議会事業

支援者により結成された熊本・外国ルーツの子ども支援連絡協議会へ参加し、外国ルーツの子どもたちを取り巻く状況について知ってもらうと共に、受入に際し受入側が注意することや理解しておくべきことについて学ぶ研修会を開催するとともに、日本語指導に当たっている教職員、日本語教師等を対象に日本語の教え方講座を実施しました。

●研修会

日 時：平成30年9月2日（日）13:30～16:30

場 所：中小企業大学校（人吉校）中教室

参加人数：12人

●特別講座（2回シリーズ）

第1回

日 時：平成31年1月26日（土）13:30～16:30

場 所：国際交流会館 3F 研修室1

内 容：子どもへの日本語の教え方

参加人数：44人

第2回

日 時：平成31年2月23日（土）13:30～16:30

場 所：国際交流会館 4F 第1会議室

内 容：外国ルーツの子どもの受入について

参加人数：54人

④ 連携事業：黒髪小学校・桜山中学校日本語センター校等との連携

熊本市内にある日本語指導のセンター校と連携し、異文化的背景を持つ方々へ、学校教育、行事等々の説明に対し協力を行いました。

●黒髪小学校日本語センター校開校式

日 時：平成30年5月7日（月）15:00～16:30

場 所：熊本市立黒髪小学校

●黒髪小学校日本語センター校閉校式

日 時：平成31年2月25日（月）15:30～16:30

場 所：熊本市立黒髪小学校

●第12回 九州外国ルーツの生徒交流会in熊本

期 間：平成31年3月23日（土）～24日（日）

場 所：国際交流会館、熊本県青年会館（ユースピア熊本）、東部YMCA